

百万石

本家みえばん
一七九九 三三八
伊勢市古市町
百万石編集部

政美さんのハガキ

「羨むもせず、ん」の「ん」の意味について。
「ん」は劇画ふうの「ん」か？と。つまり疑問を持ちながら確かめるための語である。「ん？どうです？」
転じて、繰り返す毎にだんだんと深味を増していくこと
つまり積み重ねの大切さを知らしめる意となる。
ところで私は今、野原で情眼をむさぼっているのである
夢も見ず。
「青空に撮るおもいある三十八歳かな」
「たんぼほの如糸吹く夢の軽さかな」



柳生さんのハガキ

本日やっと作品を送りました。なにが大きな荷物を降して
ホッとした感じです。題は「草木有情」も枚。
宮間さんの課題について
I 昔は「いろはにほへど」と歌ったもんです。何回もくりかえ
して歌ったのでその間をつなぐ拍子の「ん」それホント。
II 諸行無常。盛者必衰。花の色はうつりにけりな……
等等々。これ人生、これ人間の「ん」命だということ、これホント。
III 日本古来の言葉に「ん」がなかった。「む」はあった
中世の頃のつけたしである。ホントにホント

隆の字のたより

JRPの仲間に加わって一年半たちました。……略……
仲間には進んで後進だいたいといふ気持ちがいづのまにやら湧いて
おりました。……略……大略……更に略……
僕自身落選しても今後の土口となると思つし、1年の創作
専念の出来上りが、あのたかがしれた5枚の観音みち
であるわけだからとてもおおそれた期待は無理というものです。
東洋々様

伊加貝の上忍心のハガキを濃縮して

心算作業どうもありがたう。きょうも力相心のところ、
こういう線でもとめられそうと思つたのを、よ通りほど
あらよりをして、そのうち脳みそがくたびれてつぎはあした
ということになりました。
○公園のスナップの中からふたりづつ何かをしやべっているもの
○気に入って通いつづけた、白菜畑の、白菜たち
○霜の朝の、7m以内の風景
何とか自分になつてくたさるまどめ方になつたらもちろん
心算します。99%落選承知の上です。
ただ止ぬの痛むのと孫のうばはしかが困ります。

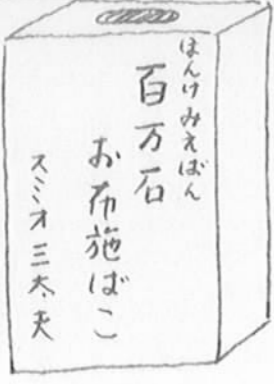
仁さん東京での……云に出席ごころうさま
そのみやげ話の中から

機関誌の赤字(1回発行されると50万円)のこと。
会費を増やしたらひとりだに赤字は減るのに、と僕は思い統
けていました。たぶん意見は出ていたけれど、そういうふうな
意見は全くなし。よほど発言したかったけど、そのことを聞
いて貰える雰囲気を感じられず、黙っていました。
総会前後の雑誌、もちろん個人的おしゃべりの中で。
三里支部のノンビリ字真々に対する批判の気配を感じ
ました。
〇〇〇〇〇〇の××××で〇〇〇〇としました。
ついでに聞いた、松門たのふだんの考案



1. 会員の拡大を全国に波及してほしい。
それにいちばん大切なことは例会のふんい気と想っています。
楽しい雰囲気作りが会費を自然に増やすと思つたのです。
2. 新入会しなくても話しあえる写真仲間を増やしたい。
そういう人達はJRPを盛りたてる力になるのです。
それにはねえ、お互いに会員の質の向上を……

- | | |
|---|--------------|
| ① | いき長く 写真 |
| ② | 論より ブツ |
| ③ | ハニ |
| ④ | 本部の苦勞に和ら顔 |
| ⑤ | へト々 |
| ⑥ | リアリズム 4冊 |
| ⑦ | ヌードで年賀状 |
| ⑧ | ルヲワカヨタレ |
| ⑨ | そうとも知らず 三重支部 |
| ⑩ | つねつねとも知らん顔 |
| ⑪ | ネ |
| ⑫ | 奈良に支部なし |
| ⑬ | 落選なら戻まくろ |
| ⑭ | ム |
| ⑮ | 浮き世の風 蕉軒に和 |
| ⑯ | 野ぐそのヨーサン |
| ⑰ | お年玉でも ウンマン円 |
| ⑱ | やっほり 柳生一族 |
| ⑲ | 傑作は鬼のはからい |
| ㉑ | 譜代親は武家の商法 |
| ㉒ | 子の月謝の勝ち |
| ㉓ | えてして忘れる |
| ㉔ | 亭主のこと オッサン |
| ㉕ | あれこれ都合で写真を休む |
| ㉖ | 故もあるか外様の理屈 |
| ㉗ | 宮間に聞け |
| ㉘ | 松門の考案 |
| ㉙ | スミオのニコリ |
| ㉚ | んのおめ 写真のおめ |
- いろはうたでちよつとあそびさせてもらいました。ぬけている所をうめてな



永田やで お茶が出たら
どうぞよろしく。
単位は100円だま
ひとつくらい。

(後記) 今回のみえばんはスミオさんの箱が珍らしさのあまり
連日 大入りで、支部の全費は一円も使わずに
すみました。
一回の発行に三五〇〇円かかるだけです。